

2025 年 度 事 業 計 画 書

NPO法人Jane Goodall Institute Japan

1 事業活動方針

本年度は、NPO法人としての「立ち上げと基盤づくり」のフェーズと位置づける。ジェーン・グドール博士の理念「すべての存在が大切であり、役割があり、そして一人ひとりが変化を生み出すことができる」という言葉を軸に、若者や市民が希望をもって行動を起こす社会の実現を目指す。Roots & Shootsの4ステップ「知ってワクワクする・探究する・行動する・祝福する」に基づき、ユースのリーダーシップ育成、自然体験、ワークショップ、上映会などを通して人と自然、動物とのつながりを実感する機会を創出する。また、企業・教育機関・地域団体との連携を進め、全国的なネットワーク形成と持続可能な運営体制の基盤を築く。

2 事業内容

特定非営利活動に係る事業

1. 生物多様性、環境保全及び人権に関する教育事業

ア 自然体験・リトリート事業準備

- 内容 海・山での自然体験、農業体験、リトリート等フィールドワークを通じて、自然、人、動物とのつながりを体感する活動を実施。参加者が地球環境への思いやりを育む、行動につなげることを目的とする。次年度に向けて、視察やプランニングなどを実施。
- 日時 通年
- 場所 全国
- 従事者人員 6人
- 受益対象者 ユース・教育関係者・一般市民 50人
- 支出見込額 290,000 円

イ ユース・コーディネーター育成事業事業

- 内容 ユース向け「キックスタートコース」のプログラムを通して、環境・人権・地域課題に取り組む若者の活動に伴走、リーダーシップを育成する。また、大人向け「コーディネーターコース」を通して、全国各地で若者の活動を支援できる人材を育成する。また、学校から要請がある場合、コーディネーターがコミュニティマッピングやアクションプランなど、Roots & Shoots 4 Step Formulaの伴走支援を行う。

- 日時 通年(月一オンラインセッション)
- 場所 オンライン(Zoom)及び対面
- 従事者人員 4人
- 受益対象者 ユース・教育関係者・一般市民 50人
- 支出見込額 60,000 円

2. 生物多様性、環境保全及び人権に関する普及啓発事業

ア 環境教育及び活動の認知拡大事業

- 内容 ジェーン・グドール博士およびRoots & Shootsの理念を広めるため、ユースカンファレンス、映画上映会、ワークショップ等を計画・準備・開催する。
- 日時 通年
- 場所 全国
- 従事者人員 4人
- 受益対象者 ユース・教育関係者・一般市民 100人
- 支出見込額 192,000 円

イ コーポレート向けマインドフルネス・ワークショップ事業

- 内容 企業や団体を対象に、自然とつながるマインドフルネスやリーダーシップ研修の準備・計画。収益の一部をユース活動支援に還元する。
- 日時 通年(年2回程度)
- 場所 企業会議室／自然環境フィールド／オンライン
- 従事者人員 6人
- 受益対象者 企業人材・団体関係者 約20社(約200人)
- 支出見込額 120,000円

3. 広報活動事業

ア 広報・情報発信事業

- 内容 ニュースレターを月2回程度発行し、活動報告や環境情報を共有。またSNSやウェブサイトを活用した広報活動を実施する。

- 日時 通年、月2回程度
- 場所 オンライン
- 従事者人員 3人
- 受益対象者 500人
- 支出見込額 70,000円

2026 年 度 事 業 計 画 書

NPO法人Jane Goodall Institute Japan

1 事業活動方針

2026年度は、「発展・拡大と制度化」のフェーズとして、2025年度に構築した基盤をもとに事業を発展させる。ユース・コーディネーター育成を強化し、全国各地で若者の主体的な活動を支援できる体制を確立する。Roots & Shootsの理念を核に、自然体験・教育プログラム・企業連携・広報活動を有機的に結びつけ、環境・人権・社会の調和に寄与する。また、NPO法人としての透明性と信頼性を高め、収益事業によるユース支援の循環モデルを確立し、希望の連鎖を社会全体へと広げていく。

2 事業内容

特定非営利活動に係る事業

1. 生物多様性、環境保全及び人権に関する教育事業

ア 自然体験・リトリート事業準備

- 内容 海・山での自然体験、農業体験、リトリート等フィールドワークを通じて、自然、人、動物とのつながりを体感する活動を実施。参加者が地球環境への思いやりを育む、行動につなげることを目的とする。次年度に向けて、視察やプランニングなどを実施。
- 日時 通年、年3回程度
- 場所 全国
- 従事者人員 6人
- 受益対象者 ユース・教育関係者・一般市民60人
- 支出見込額 1,715,000 円

イ ユース・コーディネーター育成事業事業

- 内容 ユース向け「キックスタートコース」のプログラムを通して、環境・人権・地域課題に取り組む若者の活動に伴走、リーダーシップを育成する。また、大人向け「コーディネーターコース」を通して、全国各地で若者の活動を支援できる人材を育成する。また、学校から要請がある場合、コーディネーターがコミュニティマッピングやアクションプランなど、ルーツ アンドシューツ4 Step Formulaの伴走支援を行う。

- 日時 通年(月一オンラインセッション)
- 場所 オンライン(Zoom)及び対面
- 従事者人員 4人
- 受益対象者 ユース・教育関係者・一般市民60人
- 支出見込額 1,504,000 円

2. 生物多様性、環境保全及び人権に関する普及啓発事業

ア 環境教育及び活動の認知拡大事業

- 内容 ジェーン・グドール博士およびRoots & Shootsの理念を広めるため、ユースカンファレンス、映画上映会、ワークショップ等を年4回開催する。
- 日時 通年
- 場所 全国
- 従事者人員 4人
- 受益対象者 ユース・教育関係者・一般市民130人
- 支出見込額 1,737,000円

イ コーポレート向けマインドフルネス・ワークショップ事業

- 内容 企業や団体を対象に、自然とつながるマインドフルネスやリーダーシップ研修の準備・計画。収益の一部をユース活動支援に還元する。
- 日時 通年(年2回程度)
- 場所 企業会議室／自然環境フィールド／オンライン
- 従事者人員 6人
- 受益対象者 企業人材・団体関係者 約20社(約200人)
- 支出見込額 1,530,000円

3. 広報活動事業

ア 広報・情報発信事業

- 内容 ニュースレターを月2回程度発行し、活動報告や環境情報を共有。またSNSやウェブサイトを活用した広報活動を実施する。

- 日時 通年、月2回程度
- 場所 オンライン
- 従事者人員 3人
- 受益対象者 1000人
- 支出見込額 1,560,000 円

活動予算書(R7年度)
法人成立の日から2026年9月30日まで

法人の名称 NPO法人Jane Goodall Insitute Japan
(単位:円)

科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	0		
賛助会員受取会費	0		
		0	
2. 受取寄附金			
受取寄附金	300,000		
施設等受入評価益	0		
	0	300,000	
3. 受取助成金等			
受取民間助成金	0		
	0	0	
4. 事業収益			
1.生物多様性、環境保全及び人権に関する教育事業	325,000		
2.生物多様性、環境保全及び人権に関する普及啓発事業	150,000		
3.広報活動事業	250,000		
4.その他目的を達成する為に必要な事業	200,000		
5. その他収益			
受取利息	0		
雑収益	0		
		950,000	
経常収益計			1,225,000
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	306,800		
役員報酬	0		
法定福利費	0		
退職給付費用	0		
福利厚生費	0		
人件費計	306,800		
(2) その他経費			
会議費	302,000		
旅費交通費	33,200		
施設等評価費用	0		
減価償却費	0		
支払利息	0		
印刷製本費	90,000		
その他経費計	425,200		
事業費計		732,000	
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	0		
給料手当	150,000		
法定福利費	0		
退職給付費用	0		
福利厚生費	0		
人件費計	150,000		
(2) その他経費			
消耗品費	100,000		
旅費交通費	150,000		
減価償却費	0		
支払利息	0		

通信運搬費	50,000		
その他経費計	0		
管理費計	300,000	450,000	
経常費用計			1,182,000
当期経常増減額			43,000
Ⅲ 経常外収益			
1. 固定資産売却益		0	
経常外収益計			0
Ⅳ 経常外費用			
1. 過年度損益修正損		0	
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			43,000
法人税、住民税及び事業税			19,300
当期正味財産増減額			23,700
前期繰越正味財産額			0
次期繰越正味財産額			23,700

活動予算書(R8年度)
2026年10月1日から2027年9月30日まで

法人の名称 NPO法人Jane Goodall Institute Japan
(単位:円)

品目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	0		
賛助会員受取会費	0		
		0	
2. 受取寄附金			
受取寄附金	100,000		
施設等受入評価益	0		
		100,000	
3. 受取助成金等			
受取民間助成金(地球環境基金)	2,000,000		
受取民間助成金(デロイトトーマツ)	10,000,000		
受取民間助成金(セールスフォース)	1,000,000		
		13,000,000	
4. 事業収益			
1.生物多様性、環境保全及び人権に関する教育事業	390,000		
2.生物多様性、環境保全及び人権に関する普及啓発事業	195,000		
3.広報活動事業	500,000		
4.その他目的を達成する為に必要な事業	200,000		
5. その他収益			
受取利息	0		
雑収益	0		
		1,285,000	
経常収益計			14,385,000
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	7,158,800		
役員報酬	0		
法定福利費	0		
退職給付費用	0		
福利厚生費	400,000		
人件費計	7,558,800		
(2) その他経費			
会議費	336,000		
旅費交通費	33,200		
施設等評価費用	0		
減価償却費	0		
支払利息	0		
印刷製本費	118,000		
その他経費計	487,200		
事業費計		8,046,000	
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	0		
給料手当	3,600,000		
法定福利費	0		
退職給付費用	0		
福利厚生費	200,000		
人件費計	3,800,000		
(2) その他経費			

消耗品費	100,000		
旅費交通費	150,000		
減価償却費	0		
支払利息	0		
通信運搬費	50,000		
その他経費計	300,000		
管理費計		4,100,000	
経常費用計			12,146,000
当期経常増減額			2,239,000
III 経常外収益			
1. 固定資産売却益		0	
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
1. 過年度損益修正損		0	
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			2,239,000
法人税、住民税及び事業税			1,323,900
当期正味財産増減額			915,100
前期繰越正味財産額			23,700
次期繰越正味財産額			938,800